

Ⅲ 超小型モビリティを活用した 取組の進め方

Ⅲ-1 基本的な考え方

(1) 目指す施策イメージ

スマートな交通システムの導入

【キーワード】

- ・環境に優しい
- ・効率的
- ・利用しやすい
- ・便利



【方向性】

- ・公共交通の利用促進
- ・環境負荷が少ない移動手段
- ・高齢者等のあらゆる世代にとって利用しやすく、
便利な移動手段
- ・ICTの活用
- ・経済合理性

[実現を目指す施策]・・・スマートな乗り物をスマートに利用

ICTを活用した超小型モビリティによる
カーシェアリング等の導入

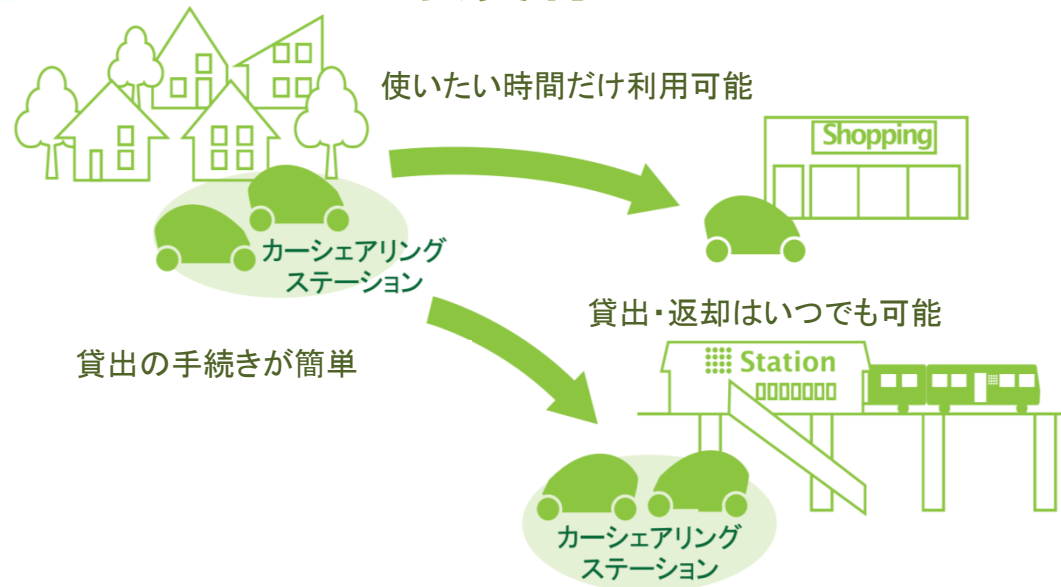
Ⅲ-2 施策イメージ

(1) カーシェアリング

手軽に時間制で自動車をレンタルできる会員制サービス

【効果】

- 自動車利用コストの低減
- 環境への負荷低減

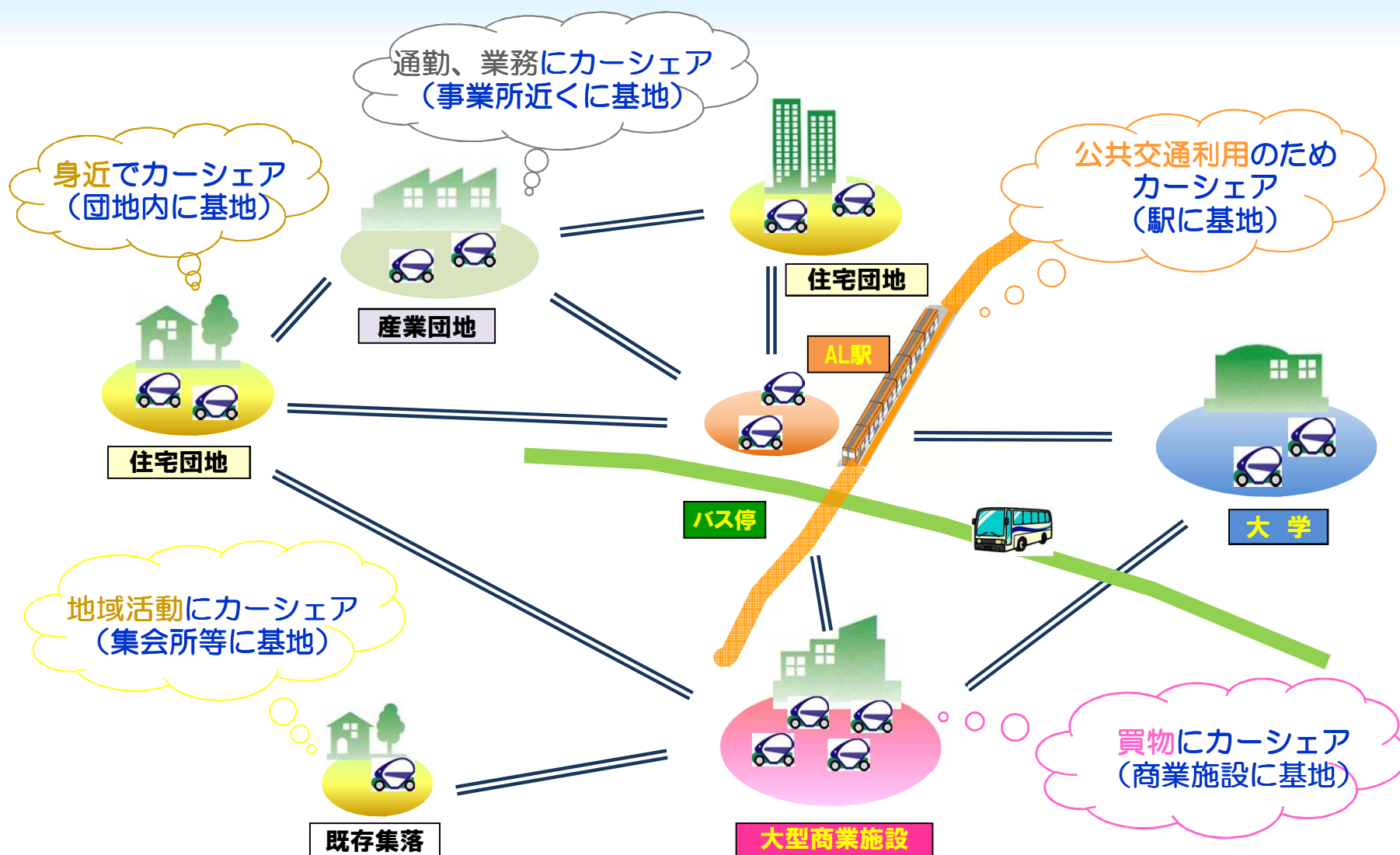


(2) ICT技術の活用

- 気軽にいつでも利用できるシェアリングサービス
(スマホ等による予約システム)
- GPSや車両情報の無線通信による効率的な車両運用
(車両管理システム)
- 他システムとの連携による新たなサービスの提供
(公共交通運行情報との連携等)

Ⅲ-2 施策イメージ

(3) 将来イメージ



Ⅲ-3 カーシェアリング導入の進め方

(1) カーシェアリングの利用形態

西風新都における想定される住民のカーシェアリング利用形態

利用理由

○使いたい時にマイカーが使えない場合など

年齢 性別

○幅広い属性の利用が期待可能

行き先

○主に買物、通院、最寄A.L.駅・バス停までの移動
○域内の大学に通学する学生の“ちょい乗り”など

利用頻度

○1人あたり週に数回程度の利用を想定

Ⅲ-3 カーシェアリング導入の進め方

(2) 導入に向けた検討事項

① 超小型モビリティの活用に向けた検討項目

安全性 の確認	○大型車両を含めた一般車両との混在走行により、安全性 ○当該ドライバーや、周辺車両ドライバーの心理面の影響
操作性 の確認	○高齢者や自動車を頻繁に運転しない人の運転時の感覚 （操作の容易性や安全性が実感できるか）
走行環境 の確認	○現状の交通に対する影響 ○車両特性を踏まえた最適走行ルートを検討
周知の 徹底	○超小型モビリティ（及びカーシェアリングサービス）の認知 度を高める方策の検討
競合の 可能性	○交通事業（バス、タクシー等）への影響の有無、程度の確認

② カーシェアリング導入に向けた検討項目

ア 事業の運営について

貸付拠点 の場所	○稼働台数に応じた駐車ポート数の確保、充電施設の設置、盗難/いたずら防止など、場所選定に係る条件整理 ○利用者の需要が高く、持続的に確保が可能な貸付拠点場所の選定
回送の 方法	○（乗り捨てサービスを設ける場合）偏在する車両の回送の考え方や具体的手法の検討。 ○予約不可能時の対応方針の検討（予約方法と一体的な検討）
予約の 方法	○予約可能な時間など、具体的な予約方法の検討 ○予約媒体の検討
利用の 条件	○会員登録制など運用の仕組み、登録条件などの検討 ○走行可能エリア・ルールの設定、路面凍結時の利用禁止の徹底（サービス停止）など、利用条件やルールの検討
運用 システム	○ICTを活用した効率的な予約・運用システムの構築。

イ 持続可能性について

適正な 利用料金	○利用者の許容範囲内、かつ持続的なサービス提供が可能な利用料金の設定。
運営 体制等	○持続可能な運営体制の検討。（例えば、地元・民間企業・行政等で構成する協議会が調整・運営・管理を担う等）
その他	○企業広報など、利用料金以外に収益を得る仕組みの検討。 ○事業目標の設定や効果把握方法の検討。

Ⅲ-3 カーシェアリング導入の進め方

(3) 実証実験の実施

① 必要性

超小型モビリティの活用によるカーシェアリングが機能し、住民の日常生活の質の向上につながるかの検証及び事業の持続可能性を検討するため、西風新都の公道上を実際に走行する実証実験を行う。

<実験による検証内容>

- 西風新都の地域特性、生活スタイルに超小型モビリティがどうマッチするか。
- 事業としての持続性、発展性はどうか。
(事業スキーム、事業採算性等)
- 目的達成の見通し
(公共交通との連携、高齢者等住民の外出支援等)

② 実施方針

〔第1ステップ〕 超小型モビリティの使われ方に関する検証

特徴的な地区等に超小型モビリティを貸し出し、住民に実際に活用して頂く実証実験を実施



※第1ステップでの検証結果を踏まえる

〔第2ステップ〕 カーシェアリングに関する検証

西風新都エリアを対象に、小規模なカーシェアリング事業を実験的に実施（実施主体、運営体制等は今後検討）

※その他、先進事例調査や関係機関ヒアリング等を平行して実施

Ⅲ-3 カーシェアリング導入の進め方

(4) 事業展開のイメージ

[平成25年度]

「西風新都への超小型モビリティの導入方針」とりまとめ



[平成26年度 ～]

本格展開を見据えた実証実験等の実施

〔第1ステップ〕 超小型モビリティの使われ方について(平成26年度～)

〔第2ステップ〕 カーシェアリングについて

※) 第1ステップでの実証実験等を踏まえ内容を検討



超小型モビリティを活用した域内カーシェアリングの本格展開



西風新都における成功を踏まえた全市的な展開

Ⅲ-3 カーシェアリング導入の進め方

(5)〔第1ステップ〕実証実験(案)の概要

実施内容	・ 地域団体等に車両を貸し付け、団体構成員等が、日常生活において車両の共同利用を実施。 ・ 運営団体や車両利用者に対するアンケート（ヒアリング）調査を実施し、課題の抽出、検討。
実施主体	広島市
期間	平成26年秋頃～（10ヶ月程度）
車種/台数	超小型モビリティ（2人乗り）／ 6台 を予定
車両の確保	広島市がリース契約 地域団体へは無償貸付
貸付場所	・ 地元の集会施設等（複数地区を想定） ・ 大学（今後、調整予定）
運用イメージ	例えば、地元施設（集会所等）や大学（学生会館等）を車両貸出拠点として、貸付組織毎の運用ルールを定めて、住民・学生が共同利用を行う。

IV 今後のスケジュール

IV-1 今後のスケジュール(案)

	平成 25 年度	平成26年度											
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実証実験に 向けた検討	地元団体、自動車メーカーとの協議・調整												
	←→ 超小型モビリティ認定制度 に係る協議・調整 ←→ ○認定 ○車検 ←→ ←→実証実験←→												
研究会	○ 第4回				○ 第5回			○ 第6回					○ 第7回

IV-2 今後の研究会について

〔平成25年度〕

【第1回～第3回】

- ・西風新都の特徴及び交通課題の整理
- ・事例調査
- ・取組の方向性の検討
- ・住民アンケート調査の実施、解析
- ・超小型モビリティを活用した取組の検討

○超小型モビリティ等の試乗会

【第4回】(3月17日開催)

- ・住民アンケートによる需要分析
- ・超小型モビリティ試乗会の実施(報告)
- ・超小型モビリティ導入の進め方

〔平成26年度～〕

- 実証実験(第1ステップ)の内容の検討及び結果検証
- カーシェアリング導入に係る検討
 - ・実証実験(第2ステップ)の実施に向けたスキームの検討
 - ・ICTの活用について